

(一社) コンクリートメンテナンス協会(徳納武使会長)は19日、福岡市で『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2014』写真Ⅱを開催した。約170人が参加し、補修工法選定の考え方や適応性などについて、理解を深めた。

同協会ではコンクリート構造物の維持管理技術に関するフォーラムを全国各地で毎年開催している。後援は、土木学会、日本コンクリート工学会、プレストレストコンクリート工学会など。

開催に先立ち、徳納会長は「昨年のフォーラムと比べ、今回の内容は最新の知見と補修技術を交え、グレードアップしたものとなっている」となどとあいさつ、「コンクリートの補修は難しいという声をよく聞くが、現地調査から材料、工法決定までをフロー通り、取

り組むとコンクリート補修は難しいものではない。フォーラムでは多くの補修技術を紹介したい」と話した。

フォーラムは2部構成で第1部では、江良和徳氏(極東興和)が「コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方」と題し講演。第2部では、光永浩一氏(ダイクレ興産)が「支承リバイバルシステム」、中丸大輔氏(日本ペイント販売)が「コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システム」について講演を行った。

補修、補強でフォーラム コンクリートメンテナンス協会

